

1

環境政策課、廃棄物・リサイクル課

指標名	指標の推移										目標	特記事項
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	目標年次(R12)	
環境にやさしい買い物スタイル協力店舗数	1,334 店	1,329 店	1,258 店								目標なし —	全ての協力店へ取組状況を確認したところ、閉店等が多数あり
店頭啓発活動	0 回／年	0 回／年	39 回／年								目標なし —	市役所前11回、小売事業者の店頭28回
1人1日当たりごみ排出量(g/人・日)	968 g	966 g	R7.4公表 g								805以下 (g/人・日)	990g(R2実績)
1人1日当たりの家庭系ごみの排出量(g/人・月)	647 g	640 g	R7.4公表 g								404以下 (g/人・月)	669g(R2実績)

第三次群馬県循環型社会づくり推進計画 進捗点検調査票(個票)

個票番号

2

所属名

廃棄物・リサイクル課

取組の柱	施策の項目	施策展開	計画該当ページ
5R(3R+Refuse+Respect)の推進	廃棄物の発生抑制、資源循環の推進に向けた市町村との連携	廃棄物の発生抑制等に関する施策の導入に向けた市町村への支援 市町村が実施している事業との連携 各種リサイクル法に定める全ての品目の分別回収の促進	77～78

(1)関連施策について

(1)これまでの実施状況(令和5年度)	評価
・容器包装廃棄物や使用済小型家電その他資源ごみについて、県民が利用しやすい回収方法(宅配回収など)、回収ルートの開拓、新たな回収拠点の整備及び既存の回収品目の拡大について、市町村に対し助言を行った。	【施策の必要性】 ☒ A 状況の変化等により必要性が増大している ☐ B 従前どおりの必要性が求められている ☒ C 状況の変化等により必要性は後退している ☒ D 目的を達成し、必要性は薄れている
	【目標に対する貢献度】 ☒ A 予定を上回る効果 ☒ B ほぼ予定通りの効果 ☐ C 予定を下回る効果 ☒ D 現時点で判断できない
	【成果・活動指標の傾向評価】 ☒ ↗ 全体として目標に向かって(改善傾向) ☐ → 横ばいの傾向 ☒ ↘ 全体として厳しい状況(悪化傾向)
(2)今後の展開方向(令和6年度～) ・市町村によって取組に差が大きいことから、先進的な事例等の情報提供を引き続き行い、各種施策導入に向けた支援を継続して行う。 ・容器包装廃棄物や使用済小型家電その他資源ごみについて、県民が利用しやすい回収方法、回収ルートの開拓等について、市町村に対し助言を行う。	【施策の手法・効率性】 ☐ A 概ね妥当と考える ☒ B 部分的見直しが必要 ☒ C 大幅な見直しが必要 ☒ D 廃止・休止の方向

(2)成果(活動)指標・関連データの推移

指標名	指標の推移										目標	特記事項
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	目標年次(R12)	
一般廃棄物の再生利用率	14.5	13.9	R7.4(公表)								27以上	14.3%(R2実績)
	%	%	%									
1人1日当たりごみ排出量(g/人・日)	968	966	R7.4(公表)								805以下	990g(R2実績)
	g	g	g								(g/人・日)	
1人1日当たりの家庭系ごみの排出量(g/人・日)	647	641	R7.4(公表)								404以下	669g(R2実績)
	g	g	g								(g/人・日)	

3

廃棄物・リサイクル課

[illegible]

4

グリーンイノベーション推進課、廃棄物・リサイクル課

[illegible]

5

環境保全課、廃棄物・リサイクル課

○ A 概ね妥当と考える
B 部分的見直しが必要
C 大幅な見直しが必要
D 廃止・休止の方向

- ・河川水中のマイクロプラスチック調査の実施：3地点、年2回
- ・流域連携によるマイクロプラスチック調査体験ツアー実施を開催する。
- ・県主催のイベント等でリユース食器の活用を積極的に推進し、普及啓発を図る。
- ・マイバッグやマイボトルの普及促進により、使い捨てプラスチックの削減を図る。
- ・プラスチック代替製品を紹介し、プラスチック以外の素材への代替、再生プラスチックやバイオプラスチックの利用の促進を図る。
- ・プラスチックごみの削減に積極的に取り組む県内事業者について、取組の状況把握と拡大支援を行っていく。
- ・生分解性マルチフィルムの活用を増加させるための方策を検討する。
- ・容器包装リサイクル法及びプラスチック資源循環促進法に基づくプラスチックの一括回収に取り組む市町村数及び資源回収量を増加させるため、市町村に対し必要な助言・情報提供等を行うとともに、分別収集等の課題を調査し、今後の市町村に対する支援方法等の検討を進める。

[illegible]

6

廃棄物・リサイクル課

○ A 概ね妥当と考える
B 部分的見直しが必要
C 大幅な見直しが必要
D 廃止・休止の方向

[illegible]

第三次群馬県循環型社会づくり推進計画 進捗点検調査票(個票)

個票番号

7

所属名

廃棄物・リサイクル課

取組の柱	施策の項目	施策展開	計画該当ページ
廃棄物等の適正処理の推進	産業廃棄物の適正処理の推進と処理施設の確保	排出事業者・廃棄物処理業者への監視・指導の強化 事前協議制度の見直し等による処理施設の設置促進 排出事業者と再生事業者等のマッチングの推進 優良処理業者の育成 各種感染症拡大時にも対応できる体制の整備	85～87

(1)関連施策について

(1)これまでの実施状況(令和5年度)	評価
- 産業廃棄物相談員による排出事業者への立入検査 - 産業廃棄物相談員及び廃棄物・リサイクル課担当職員合同での多量排出事業者への立入検査 - 産業廃棄物処理業者への立入検査(全処分業者への抜き打ち検査及び抽出処分業者への詳細検査) - 群馬県HP内「産業廃棄物情報」等及びメール配信による情報提供 - 廃プラスチック類のリサイクル処理に関するマッチングシステムの運用 - 優良認定処理業者制度の周知・運用 - 新型コロナウイルス関連通知等の情報提供	【施策の必要性】 ☒ A 状況の変化等により必要性が増大している ☐ B 従前どおりの必要性が求められている ☒ C 状況の変化等により必要性は後退している ☐ D 目的を達成し、必要性は薄れている 【目標に対する貢献度】 ☒ A 予定を上回る効果 ☐ B ほぼ予定通りの効果 ☐ C 予定を下回る効果 ☐ D 現時点で判断できない 【成果・活動指標の傾向評価】 ☒ 全体として目標に向かって(改善傾向) ☐ 横ばいの傾向 ☐ 全体として厳しい状況(悪化傾向) 【施策の手法・効率性】 ☐ A 概ね妥当と考える ☐ B 部分的見直しが必要 ☐ C 大幅な見直しが必要 ☐ D 廃止・休止の方向
(2)今後の展開方向(令和6年度～)	
(多量)排出事業者及び産業廃棄物処理業者への立入検査継続 - 群馬県産業廃棄物情報HP及びメール配信による情報提供の充実化 - 廃プラスチック類のリサイクル処理に関するマッチングシステムの運用、拡充 - 優良認定処理業者制度の周知、認定業者の育成 - 産業廃棄物処理業者の感染症拡大時の業務継続体制構築に関する周知、指導継続	

(2)成果(活動)指標・関連データの推移

指標名	指標の推移										目標	特記事項
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	目標年次(R12)	
産業廃棄物相談員立入件数	414	391	267								400	相談員の欠員
	件/年	件/年	件/年								件	
産業廃棄物処理業者等立入件数	305	266	237								300	検査対象の申請少
	件/年	件/年	件/年								件	
優良認定処理業者件数	351	376	417								400	
	者	者	者								者	

9

廃棄物・リサイクル課

[illegible]

10

廃棄物・リサイクル課

89

○ A 概ね妥当と考える
B 部分的見直しが必要
C 大幅な見直しが必要
D 廃止・休止の方向

[illegible]

11

環境政策課、廃棄物・リサイクル課、
健康長寿社会づくり推進課

[illegible]

12

廃棄物・リサイクル課

○ A 概ね妥当と考える
B 部分的見直しが必要
C 大幅な見直しが必要
D 廃止・休止の方向

[illegible]

13-1

グリーンイノベーション推進課

[illegible]

13-2

林業振興課

[illegible]

13-3

廃棄物・リサイクル課

[illegible]

13-4

ぐんまブランド推進課

○ A 概ね妥当と考える
B 部分的見直しが必要
C 大幅な見直しが必要
D 廃止・休止の方向

[illegible]

14

廃棄物・リサイクル課

97

○ A 概ね妥当と考える
B 部分的見直しが必要
C 大幅な見直しが必要
D 廃止・休止の方向

[illegible]

15

廃棄物・リサイクル課

97~98

○ A 概ね妥当と考える
B 部分的見直しが必要
C 大幅な見直しが必要
D 廃止・休止の方向

[illegible]

16

廃棄物・リサイクル課
自然環境課、河川課

[illegible]

17

グリーンイノベーション推進課
環境政策課、廃棄物・リサイクル課

108~109

○ A 概ね妥当と考える
B 部分的見直しが必要
C 大幅な見直しが必要
D 廃止・休止の方向

[illegible]

第三次群馬県循環型社会づくり推進計画 進捗点検調査票(個票)

個票番号

18

所属名

廃棄物・リサイクル課

取組の柱	施策の項目	施策展開	計画該当ページ
発生抑制対策	廃棄物の発生抑制、資源循環の推進に向けた市町村との連携	廃棄物の発生抑制等に関する施策の導入に向けた市町村への支援(再掲) 市町村が実施している事業との連携(再掲) 各種リサイクル法に定める全ての品目の分別回収の促進(再掲) 市町村と連携した回収方法・回収ルート of 拡充(再掲)	109～110

(1)関連施策について

(1)これまでの実施状況(令和5年度)	評価
・容器包装廃棄物や使用済小型家電その他資源ごみについて、県民が利用しやすい回収方法(宅配回収など)、回収ルートの開拓、新たな回収拠点の整備及び既存の回収品目の拡大について、市町村に対し助言を行った。 ・容器包装廃棄物やその他資源ごみの回収の促進について、一部事務組合と情報・意見交換を実施した。	【施策の必要性】 ☐ A 状況の変化等により必要性が増大している ☒ B 従前どおりの必要性が求められている ☐ C 状況の変化等により必要性は後退している ☐ D 目的を達成し、必要性は薄れている 【目標に対する貢献度】 ☐ A 予定を上回る効果 ☐ B ほぼ予定通りの効果 ☒ C 予定を下回る効果 ☐ D 現時点で判断できない 【成果・活動指標の傾向評価】 ☒ 全体として目標に向かっていている(改善傾向) ☒ → 横ばいの傾向 ☐ 全体として厳しい状況(悪化傾向) 【施策の手法・効率性】 ☒ A 概ね妥当と考える ☐ B 部分的見直しが必要 ☐ C 大幅な見直しが必要 ☐ D 廃止・休止の方向
(2)今後の展開方向(令和6年度～)	
・市町村によって取組に差が大きいことから、先進的な事例等の情報提供を引き続き行い、各種施策導入に向けた支援を継続して行う。 ・容器包装廃棄物や使用済小型家電その他資源ごみについて、県民が利用しやすい回収方法、回収ルートの開拓等について、市町村に対し助言を行う。	

(2)成果(活動)指標・関連データの推移

指標名	指標の推移											目標	特記事項
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	目標年次(R12)		
一般廃棄物の再生利用率	14.5	13.9	R7.4公表									27以上	
	%	%	%										
1人1日当たりごみ排出量(g/人・日)	968	966	R7.4公表									805以下	990g(R2実績)
	g	g	g									(g/人・日)	
1人1日当たりの家庭系ごみの排出量(g/人・日)	647	640	R7.4公表									404以下	669g(R2実績)
	g	g	g									(g/人・日)	
プラスチック製容器包装廃棄物(ペットボトルを除く)の分別収集の実施市町村数	22	22	22									35	
	市町村	市町村	市町村									市町村	

